

安全データシート

ジメチル-(ジエチルアミド-1-クロルクロトニル)-ホスフェイト

改訂日: 2024-01-29 版番号: 1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名	: ジメチル-(ジエチルアミド-1-クロルクロトニル)-ホスフェイト
CB番号	: CB7451007
CAS	: 13171-21-6
同義語	: ジメチル-(ジエチルアミド-1-クロルクロトニル)-ホスフェイト

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: コリンエステラーゼ阻害剤 浸透殺虫剤 有機リン系殺虫剤
推奨されない用途	: なし

会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

H18.5.24 (環境に対する有害性についてはH18.3.31)、GHS分類マニュアル(H18.2.10 版)を使用

物理化学的危険性

酸化性液体 分類できない

酸化性固体 分類対象外

有機過氧化物 分類対象外

金属腐食性物質 分類できない

水反応可燃性化学品 区分外

自己発熱性化学品 分類できない

自然発火性固体 分類対象外

自然発火性液体 区分外

自己反応性化学品 分類対象外

可燃性固体 分類対象外

引火性液体 分類できない

高圧ガス 分類対象外

支燃性・酸化性ガス類 分類対象外

可燃性・引火性エアゾール 分類対象外

可燃性・引火性ガス 分類対象外

火薬類 分類対象外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分2

急性毒性(経皮) 区分3

急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

急性毒性(吸入:粉じん) 分類対象外

急性毒性(吸入:ミスト) 区分2

皮膚腐食性・刺激性 分類できない

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2A-2B

呼吸器感作性 分類できない

吸引性呼吸器有害性 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分1(神経系)

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分1(心血管系 呼吸器系 神経系)

生殖毒性 区分外

発がん性 区分外

生殖細胞変異原性 区分2

皮膚感作性 分類できない

環境に対する有害性

水生環境慢性有害性 区分1

水生環境急性有害性 区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル

GHS06	GHS08	GHS09

注意喚起語

危険

危険有害性情報

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

水生生物に非常に強い毒性

長期又は反復ばく露による神経系の障害

呼吸器系、心血管系、神経系の障害

遺伝性疾患のおそれの疑い

強い眼刺激

吸入すると生命に危険

皮膚に接触すると有毒

飲み込むと生命に危険

注意書き

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚についた場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。

すべての汚染された衣類を脱ぐこと、又は取り除くこと。

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【廃棄】

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

【保管】

漏出物は回収すること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

ばく露した場合:医師に連絡すること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

吸入した場合、直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

適切な個人用保護具を使用すること。

適切な呼吸用保護具を着用すること。

適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

使用前に取扱説明書を入手すること。

【安全対策】

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名 : ジメチル-(ジエチルアミド-1-クロルクロトニル)-ホスフェイト

分子式(分子量) : C₁₀H₁₉ClNO₅P (299.691)

CAS番号: : 13171-21-6

官報公示整理番号(化審法・安衛法) : 化審法- 安衛法-2-(7)-182

分類に寄与する不純物及び安定化添加 : データなし

濃度又は濃度範囲 : 1

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに医師に連絡すること。

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。

多量の水と石鹸で洗うこと。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

予想される急性症状及び遅発性症状

データなし

最も重要な兆候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

データなし

医師に対する特別注意事項

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び、又は毒性のガスを発生するおそれがある。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

密閉された場所に立入る前に換気する。

関係者以外の立入りを禁止する。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

作業者は適切な保護具(『8.ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

回収・中和

不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

封じ込め及び浄化方法・機材

危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

飲み込まないこと。

皮膚との接触を避けること。

眼に入れないこと。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

使用前に使用説明書を入手すること。

接触回避

データなし

保管

技術的対策

特別に技術的対策は必要としない。

混触危険物質

「10.安定性及び反応性」を参照。

保管条件

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会(2007年版)

未設定

ACGIH(2007年版)

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

形状 液体

色 無色-黄色

臭い データなし

pH データなし

水溶解度 1.0E-006mg/L(25℃)(実測値) : NITE総合検索 (Access on Nov. 2008)

水への溶解度 混和する : ICSC (Access on Nov. 2008)

logPow=0.79 (実測値) : PHYSPROP (Access on Nov. 2008)

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

1.2132(25/4℃) : NITE総合検索 (Access on Nov. 2008)

データなし

データなし

2.5E-005mmHg (20℃) : NITE総合検索 (Access on Nov. 2008)

データなし

データなし

データなし

引火せず

162℃(1.5mmHg) : NITE総合検索 (Access on Nov. 2008)

-45℃ : NITE総合検索 (Access on Nov. 2008)

融点・凝固点

-45℃ : NITE総合検索 (Access on Nov. 2008)

沸点、初留点及び沸騰範囲

162℃(1.5mmHg) : NITE総合検索 (Access on Nov. 2008)

引火点

引火せず

自然発火温度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発範囲

データなし

蒸気圧

2.5E-005mmHg (20℃) : NITE総合検索 (Access on Nov. 2008)

蒸気密度

データなし

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

比重(密度)

1.2132(25/4℃) : NITE総合検索 (Access on Nov. 2008)

溶解度

水溶解度 1.0E-006mg/L(25℃)(実測値) : NITE総合検索 (Access on Nov. 2008)

水への溶解度 混和する : ICSC (Access on Nov. 2008)

オクタノール・水分配係数

logPow=0.79 (実測値) : PHYSPROP (Access on Nov. 2008)

分解温度

データなし

粘度

データなし

粉じん爆発下限濃度

データなし

最小発火エネルギー

データなし

体積抵抗率(導電率)

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる

危険有害反応可能性

加熱や燃焼により分解し、リン酸化物、塩化水素、窒素酸化物を含むきわめて有毒なヒュームを生じる。

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

塩基と反応する。

金属(鉄、スズ、アルミニウムなど)を侵す。

危険有害な分解生成物

リン酸化物、塩化水素、窒素酸化物(加熱、燃焼時)

11. 有害性情報

急性毒性

経口

ラットLD50値 17mg/kg(PIM(Poisons Information Monographs)454, WHO/IPCS, 2001)に基づいた。

経皮

ラットLD50値 374mg/kg(PIM(Poisons Information Monographs)454, WHO/IPCS, 2001)に基づいた。

吸入

吸入(ガス): GHSの定義における液体

吸入(蒸気): データなし

吸入(ミスト): 本物質の蒸気圧は0.0033Pa(20℃)である。飽和蒸気圧濃度は0.03ppmと計算され、0.102mg/Lは8.3ppmであることから、ミストと推察した。ラットLC50値の0.102mg/L/4h、0.135mg/L/4h、0.16mg/L/4h(いずれもPIM(Poisons Information Monographs)454, WHO/IPCS, 2001)に基づき、計算式を適用して区分した。LC50=0.105mg/L/4h

皮膚腐食性・刺激性

データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

PIM(Poisons Information Monographs)454(WHO/IPCS, 2001)のヒト眼刺激性に関する記述"32名の大部分が適用直後に結膜の刺激性を感じた"から区分2とした。ただし、細区分2Aと2Bの分別はデータ不足のためできない。【表示】細区分を行う必要がある場合は、安全性の観点から、2Aとした方が望ましい。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性:データなし

皮膚感作性:データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性

RTECS(2004)およびHSDB(2004)のデータからラットおよびマウスのin vivo骨髄染色体異常試験における複数の陽性報告があり、マウス精母細胞での染色体異常試験では陰性のため、区分2とした。

発がん性

HSDB(2004)(元文献はNTP TR16, 1979)の記述"Male Rats: Equivocal, Female Rats: Equivocal, Male Mice: Negative, Female Mice: Negative"から、ラット、マウスともに明確な腫瘍形成の証拠がないと考えられ、区分外とした。

生殖毒性

HSDB(2004)およびToxicology Data Review Summaries(California EPA/Dept. of Pesticide Regulation, 1990)の実験動物データ(催奇形性試験、2世代繁殖試験)において胎児体重の低下がみられたものの、PIM(Poisons Information Monographs)454(WHO/IPCS, 2001)のヒトにおける知見の記述"妊娠は影響を受けることなく継続し、正常な子供が生まれた"から、ヒトにおける生殖毒性はないと考えられ、区分外とした。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性

甲殻類(ミジンコ)の48時間EC50=0.01mg/L(HSDB、2004)から、区分1とした。

水生環境慢性有害性

急性毒性が区分1、生物蓄積性が低いと推定されるもの(log Kow=0.79(PHYSPROP Database、2005))、急速分解性がないと推定される(BIOWIN)ことから、区分1とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

IMOの規制に従う。

航空規制情報

ICAO/IATAの規制に従う。

UNNo.

3018

ProperShippingName.

Organophosphorus pesticide, liquid, toxic

Class

6.1

(注意:物質純度に応じて、複数の国連番号あり)

国内規制

陸上規制情報

毒劇法の規制に従う。

海上規制情報

船舶安全法の規制に従う。

航空規制情報

航空法の規制に従う。

特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

152

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

特定毒物(法第2条別表第3)(法令番号:5)

特定毒物(指定令第3条)(政令番号:5)

毒物(法第2条別表第1)(法令番号:13)

毒物(指定令第1条)(政令番号:15)

水質汚濁防止法

生活環境汚染項目(法第2条、施行令第3条、排水基準を定める省令第1条別表第2)

海洋汚染防止法

個品運送PP(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示)

船舶安全法

毒物類・毒物

航空法

毒物類・毒物

港則法

毒物類・毒物

道路法

車両の通行の制限(施行令第19条の13、日本道路公団公示)

16. その他の情報

略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA:国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LD50: 致死量 50%

参考文献

- 【2】 化学物質審査規制法(化審法)<https://www.env.go.jp>
- 【3】 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】 NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)<https://www.nite.go.jp/>
- 【5】 カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】 ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】 ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】 eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en
- 【9】 ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】 有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】 HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】 IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】 IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】 Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>
- 【1】 労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。